### 筑西広域市町村圏事務組合の給与・定員管理等について

#### 1 総括

#### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口	歳出額	実質収支	人件費	人件費率	(参考)
区 万	(28年1月1日)	A		В	B/A	26 年度の人件費率
07 左帝	人	千円	千円	千円	%	%
27 年度	204, 720	6, 187, 985	354, 348	2, 471, 799	40. 0	40. 1

#### (2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

豆 八	職員数		給	<b></b>		(参考)一人当たり
区分	A	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	給与費 B/A
27 年度	331 人	1, 157, 781 千円	235, 248 千円	441, 330 千円	1,834,359 千円	5, 542 千円

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
  - 2 職員数は、28年4月1日現在の人数である。
  - 3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与が含まれており、 職員数には当該職員を含んでいない。

#### (3) 給与改定の状況

①月例給

人事院勧告に基づき、世代間の給与配分の見直しの観点から若年層に重点を置いて給料表を改定する。 (平均 0.2%引上げ)

②特別給(期末·勤勉手当)

人事院勧告に基づき、民間の支給割合に見合うよう引上げる。(4.20月分→4.30月分)

## (4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

#### ①給料表の見直し

[実施]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期) 平成28年4月1日

(内容) 行政職、公安職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均0.2%を引き上げした。

#### ②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合) 国基準3%に対し、筑西市に倣い3%を支給。

(実施時期) 平成18年4月1日より実施。

(参考)

(参与)				
	平成 26 年度の	平成 27 年度	平成 28 年度	
	支給割合	4月1日時点	遡及改定後	の支給割合
国基準による支給割合	3%	3%	3%	3%
筑西広域の支給割合	3%	3%	3%	3%

#### ③その他の見直し

管理職特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

#### (5) 特記事項

一般職の給与削減措置 平成25年からは管理職手当を定額化し、平成27年から10%削減を実施している。 特殊勤務手当の見直し 施設の更新等による労働環境改善に伴い、平成16年度から清掃処理業務手当を50%減額した。

#### 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

#### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(28年4月1日現在)

#### ①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
筑西広域	46.0歳	328,072 円	366, 097 円	358, 675 円
茨城県	43.2歳	330, 689 円	418, 752 円	372, 775 円
玉	43.6歳	331,816 円	_	410, 984 円

#### ②技能労務職

		公 務 員				民 間			参考
区 分	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与 月額(A)	平均給与月額 (国比較べー ス)	対応する民間の類似職業	平均年齢	平均給与 月額(B)	A/B
筑西広域	45.1歳	3人	216, 300 円	242,920 円	241, 419 円				
うち清掃員	49.3歳	2人	203, 500 円	227, 105 円	217,605 円	廃棄物処理員	45.3歳	290, 300 円	0.78
茨城県	53.6歳	264 人	336, 903 円	387, 998 円	366,042 円				
国	50.4歳	2,876人	287, 447 円	_	329, 358 円				

		参 考	
区 分	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間 (D)	C/D
筑西広域	4,099,515 円	_	_
うち清掃員	3, 999, 675 円	3,968,100 円	1. 01

- ※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成25~27年の3か年平均)
- ※技能労務職の職種と民間の職種等の比較に当たり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。
- ※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を 12 倍したものに、公務員において前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

#### ③消防職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
筑西広域	35.0歳	282,056 円	330, 198 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、28年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。
  - 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。 また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

#### (2) 職員の初任給の状況(28年4月1日現在)

区	分	筑西広域	茨城県	玉
一般行政職	大 学 卒	176,700 円	180,100 円	176, 700 円
一列又1 ] 正义相联	高 校 卒	144,600 円	146,800 円	144,600 円
技能労務職	高 校 卒	142,000 円	144, 400 円	_
1又形力4分4联	中学卒	134,000 円	136,000 円	_
次化 17十 11分	大 学 卒	192,700 円	202,400 円	208, 200 円
消防職	高 校 卒	163, 200 円	169,900 円	166, 700 円

#### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(28年4月1日現在)

区分		経験年数10年	経験年数 15 年	経験年数20年
6/L/C===1-1171;	大 学 卒	263, 100 円	341,800 円	375,600 円
一般行政職	高 校 卒		300,700 円	307, 100 円
++-\\\-\\\\-\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	高 校 卒		233, 200 円	_
技能労務職	中学卒		_	_
2014 17 <del>1-</del> 11 <del>21</del> 5	大 学 卒	258, 100 円	334,500 円	366, 100 円
消防職	高 校 卒	238,600 円	298, 483 円	333,800 円

#### 3 一般行政職及び消防職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(28年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	主事又は主事補の職務	人	%	円	円
1 7//X	土争入は土争価リ州政治	4	11. 1	140, 100	246, 100
2級	主事の職務	人	%	円	円
△形汉	土事學和政务	2	5. 6	190, 200	303, 000
3級	主幹又は主任の職務	人	%	円	円
3 ///又	土井人(よ土)工(の川政)方	9	25. 0	226, 400	348, 800
4級	係長の職務	人	%	円	円
4 秋	1六100月10分	4	11. 1	259, 900	379, 800
5級	課長補佐の職務	人	%	円	円
り救	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10	27.8	286, 200	391, 800
6級	課長、副参事の職務	人	%	円	円
O形义	宋文、 <b>副</b> 参争 <sup>0</sup> 列的另	4	11. 1	317, 000	409, 000
7級	次長、参事の職務	人	%	円	円
7 形文	1八文、	2	5. 6	361, 300	443, 700
O \$11	事效日世 田事の職效	人	%	円	円
8級	事務局長、理事の職務	1	2. 7	406, 900	467, 400

<sup>(</sup>注) 1 筑西広域市町村圏事務組合の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

#### (2) 消防職の級別職員数及び給料表の状況(28年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 1/174	消防士の職務	人	%	円	円
1級	行的7工V对联的	80	27. 4	163, 200	323, 600
O ∜∏	消防士長、消防副士長の職務	人	%	円	円
2級	(用)71上文、(用)7到1上文V 对政务	84	28.8	178, 800	360, 400
3級	消防司令補の職務	人	%	円	円
る秋	行的27日7日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1	71	24. 3	205, 400	379, 700
4 ×11	<b>沙門三人の暗弦</b>	人	%	円	円
4級	消防司令の職務	38	13. 0	245, 300	397, 100
	消防司令長(6級に掲げる消防	人	%	円	円
5級	司令長を除く。)の職務	11	3.8	289, 400	414, 500
6級	特に重要な職務を分掌する消	人	%	円	円
O市区	防司令長の職務	6	2. 1	316, 300	424, 000
7 VII.		人	%	円	円
7級	消防監の職務	1	0.3	345, 100	439, 500
O ÝTL	沙水叶工匠产小型沙	人	%	円	円
8級	消防正監の職務	1	0.3	380, 200	453, 600

<sup>(</sup>注) 1 筑西広域市町村圏事務組合の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

<sup>2</sup> 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。

<sup>2</sup> 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。

#### (3) 昇給への勤務成績の反映状況

職員の昇給(1月1日付け)への勤務実績の反映状況は、筑西広域市町村圏事務組合職員の給与決定のための勤務成績判定基準に基づき実施している。前年度は、Cランクを標準として昇給を実施した。ランクは次のとおり5段階である。

	A	極めて良好
ラ	В	特に良好
ン	С	良好(標準)
ク	D	やや良好でない
	Е	良好でない

#### ※客観的事実等とは・・・

- 1 懲戒処分等を受けた場合
- 2 療養休暇等で要勤務日数の一定割合を勤務しなかった場合
- 3 無断欠勤等があった場合

#### 4 職員の手当の状況

#### (1) 期末手当・勤勉手当

(-) //2/ //2/									
筑西広域	玉								
1人当たり平均支給額(27年度)									
1,343 千円	1,754 千円	_							
(27 年度支給割合)	(27 年度支給割合)	(27 年度支給割合)							
期末手当 勤勉手当	期末手当勤勉手当	期末手当勤勉手当							
2.60 月分 1.60 月分	2.60 月分 1.60 月分	2.60 月分 1.60 月分							
(1.45) 月分 (0.7) 月分	(1.45) 月分 (0.75) 月分	(1.45) 月分 (0.7) 月分							
(加算措置の状況)	(加算措置の状況)	(加算措置の状況)							
職制上の段階、職務の級等による加算措置	職制上の段階、職務の級等による加算措置	職制上の段階、職務の級等による加算措置							
・役職加算 5~20%	・役職加算 5~20%	・役職加算 5~20%							
	・管理職加算 15~25%	・管理職加算 10~25%							

<sup>(</sup>注) 1 ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

#### ○勤勉手当への勤務実績の反映状況

職員の勤勉手当への勤務実績の反映状況は、筑西広域市町村圏事務組合職員の給与決定のための勤務成績判定基準に基づき実施している。平成26年度は、客観的事実等が認められた場合を除き、Cランク(標準)として支給した。ランクは次のとおり5段階である。

	A	極めて良好
ラ	В	特に良好
ン	С	良好(標準)
ク	D	やや良好でない
	Е	良好でない

#### ※客観的事実等とは・・・

- 1 懲戒処分等を受けた場合
- 2 療養休暇等で要勤務日数の一定割合を勤務しなかった場合
- 3 無断欠勤等があった場合

#### (2) 退職手当(28年4月1日現在)

	筑西広域			国	
(支給率)	自己都合	勧奨·定年	(支給率)	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	20.445月分	25. 55625 月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29. 145 月分	34. 58250 月分	勤続25年	29.145月分	34.58250月分
勤続35年	41.325月分	49.590 月分	勤続35年	41.325月分	49.590 月分
最高限度額	49.590月分	49.590 月分	最高限度額	49.590月分	49.590 月分
その他の加算	措置		その他の加算	措置	
(退職前早	期退職特例 2~	~20%加算)	(退職前早	期退職特例 2~	~45%加算)
1人当たり平	均支給額 18,95	66 千円			

<sup>(</sup>注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

#### (3) 地域手当(28年4月1日現在)

	支給実績(		36,849 千円		
1	支給職員1人当たり平均		111,326 円		
	支給対象地域	支給率	支給対象職員	数	国の制度 (支給率)
	筑西広域圏 3% 331人				3% (筑西市)

<sup>(</sup>注) 平成26年4月1日より筑西市に倣い3%支給。

#### (4) 特殊勤務手当(28年4月1日現在)

	十年刀ェログロエノ		
名 称	-	支給対象職員及び金額	
	機関員	大型緊急自動車 普通緊急自動車	1, 400 円/月 1, 200 円/月
	無線通信士		240 円/月
	救急救命士		4,000 円/月
消防業務手当	特別救助隊	1,600 円/月	
	救急活動従事者	240 円/出場1回	
	はしご車作業従事	400円/出場1回	
	その他の災害出場	240 円/出場1回	
夜間特殊業務手当	消防署及び分署勤務	<b>务職員</b>	240 円/勤務1回
清掃処理業務手当	環境センターし尿処	U.理施設勤務職員	200 円/勤務半日
火葬処理業務手当	きぬ聖苑勤務職員		250円/火葬1件

#### (5) 時間外勤務手当

支給実績(27 年度決算)	18, 618	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)	70	刊
支給実績(26年度決算)	15, 047	千円
支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)	58	刊

<sup>(</sup>注) 職員一人当たりへ平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(平成27年度決算)と同じ年度の4月1日現在の 総職員数(管理職、制度上時間外勤務手当の支給対象とならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む」

#### (6) その他の手当(28年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度	国の制度と異なる内容	支給実績 (27 年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (27 年度決算)
扶養手当	配偶者 月額13,000円 配偶者以外扶養親族 月額6,500円 配偶者なしの場合の扶養親族1人目 月額11,000円 満16歳の年度始めから満22歳の年度 末までの子1人につき5,000円加算	同		41, 165 千円	231, 264 円
住居手当	借家で月額 12,000 円を超える家賃を 支払っている職員に支給 限度額 月額 27,000 円	同		15,950 千円	300, 943 円
通勤手当	バス等利用者の支給限度額 月額 55,000 円 自家用車等利用者の支給限度額 月額 31,600 円	冏		33, 504 千円	105, 690 円
管理職手当	事務局長 72,000 円 次 長 59,000 円 課 長 48,000 円 上記から10%減額措置を実施	異	10%減額 措置を実 施	29, 362 千円	466,063 千円
休日勤務手当	勤務1時間につき、給与額に135/100 ~160/100の範囲で、組合規則で定め る額を乗じて得た額	同		0 千円	0 円

#### 5 特別職の報酬の状況(28年4月1日現在)

	2 4 2 2 1-54 - 4 1 2 4-2 -1 -	* # #P
	区 分	報酬年額
	管理者	70,000 円
報	副管理者	60,000 円
酬	議長	60,000 円
	副議長	50,000円
	議員	45,000 円

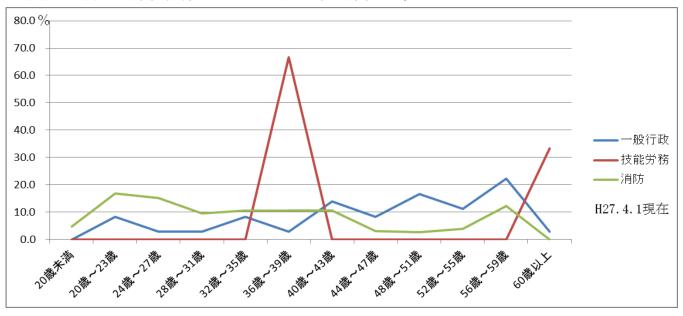
# 6 職員数の状況 (1) 所属別職員数の状況(各年4月1日現在)

(1) ///AB///HUQXXV/1/\/\/\ (1	1 1 1/1 1 D Dulty		
所 属	平成 28 年度	平成27年度	増減数
事務局	16	18	<b>A</b> 2
筑西遊湯館	2	2	0
県西総合公園	4	4	0
環境センター	15	16	<b>▲</b> 1
きぬ聖苑	2	2	0
職業訓練センター	指定管理	指定管理	
小 計	39	42	▲3
消防本部(消防職)	56	57	<b>▲</b> 1
筑西消防署	62	61	1
関城分署	15	14	1
明野分署	15	14	1
協和分署	15	14	1
結城消防署	55	53	2
桜川消防署	52	50	2
真壁分署	22	22	0
小 計	292	285	7
合 計	331	327	4

#### (2) 年齢別職員構成の状況(28年4月1日現在)

			14/24 - 74	<b>~~</b> \~ ~										
		20歳	20歳	24 歳	28歳	32歳	36歳	40歳	44歳	48歳	52 歳	56 歳	60歳	
区	分		$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$	$\sim$		計
		未満	23歳	27歳	31歳	35歳	39歳	43 歳	47歳	51 歳	55 歳	59歳	以上	
	一般	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
时分	行政	0	3	1	1	3	1	5	3	6	4	8	1	36
職員	技能	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
数	労務	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3
奴	214 li+	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	消防	14	49	44	28	31	31	31	9	8	11	36	0	292

(注) 60歳以上の職員は、環境センター及び消防の再任用職員である。



(3) 職員数の推移 (単位:人・%)

The second of th								
年度部門別	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	過去5年間の増減数	
一般行政	33	33	34	32	38	36	3 (9.1%)	
技能労務	6	4	4	5	4	3	<b>▲</b> 3 ( <b>▲</b> 50.0%)	
消防	273	275	273	283	285	292	19 (7.0%)	
総合計	312	312	311	320	327	331	19 (6.1%)	

<sup>(</sup>注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。